

1 単元 Unit 6 “The Story of an Old Clock” (New Horizon English Course Book 2)

2 単元のねらい

- ・ ペアやグループでの活動において、間違うことを恐れずに話す。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ 自分の近所や行きたいところを口頭で説明する。【外国語表現の能力】
- ・ **There is/are** を用いた文や動名詞を用いた文の構造を理解する。
【言語や文化についての知識・理解】

3 基盤（生徒観は省略）

本単元では海外旅行を計画しているブラウン先生がインターネットでホテルを探しているときに「大きな古時計」のあるホテルを見つけ、そのことについて詳しく知るために書店で本を探している。後半の **Reading for Communication** では”Grandfather’s Clock”という曲が生まれた経緯について書かれている。言語材料としては **There is/are**～.を用いた事物の所在を表す文とその問答、動名詞を用いた文が扱われている。「～に～がある。」という情報のやり取りに焦点を当てていることから、生徒にとっては自分の部屋の様子や自宅の周りの様子を表現したり、たずねあつたりするのに適した単元であるといえる。また、動名詞については、「～すること」という意味であることを踏まえて、**finish, enjoy** など決まった動詞の目的語としての機能を持っていることや、**To** 不定詞の名詞的用法との関連をおさえておきたい。

本単元の学習を通して、**There is/are**～や動名詞の用法、意味を理解し、運用できる力をつけたい。**There is/are**～.構文は、これまで学習してきた文構造とは異なっている。しかし、「～が～にある。」といった決まったパターンの表現であるにとらえた方が理解しやすい文型であると考えられる。また場所を示す前置詞とともに用いられることが多いため、前置詞の復習を併せて行うと効果的であろう。指導の流れとしては、ピクチャーカードを使った口頭での導入に続き、新出語句の確認、教科書本文の音読・形式練習を通して、文構造の定着を図りたい。最終的にはペア活動において、一連のやり取りの中で新出事項を必然性のある形で運用させるとともに、既習の会話表現の活用をさせることを目指したい。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
① ペアやグループでの活動において、間違うことを恐れずに話している。 (話すこと・言語活動への取組)	① 自分の近所や行きたいところを口頭で説明することができる。 (話すこと・正確な発話)	/	① There is/are を用いた文の構造を理解している。 ② 動名詞を用いた文の構造を理解している。 (書くこと・言語についての知識)

5 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

時	○ねらい ・主な学習活動	評 価				
		関	表	理	言	主な評価規準（評価方法）
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・前置詞の復習					
	○There is/are...を用いた文の構造を理解する。 ・There is/are を用いた文の構造を知る。（肯定文・否定文） ・教科書 P.58 を通して There is/are... の使い方を理解する。 ・本文から、自分の部屋や近所の様子を表現するときに活用できる表現を探す。 ・本文の音読				①	There is/are...を用いた文構造（肯定文・否定文）を理解している。 （後日ペーパーテスト）
2	○There is/are...を用いた文の構造を理解する。 ・ There is/are...を用いた文の構造を知る。（疑問文とその答え方） ・教科書 P.59 を通して There is/are... の使い方を理解する。 ・本文から、自分の部屋や近所の様子を表現するときに活用できる表現を探す。 ・本文の音読				①	There is/are...を用いた文構造（肯定文・否定文）を理解している。 （後日ペーパーテスト）
3	○There is/are...の疑問文とその答え方ができるように応答練習をする。 ・Your Turn の活動を通して、応答練習を行う。 ・次時に表現する自分の近所について地図を作成する。	①				ペアワークにおいて、間違えることを恐れずに話している。（活動の観察）
4 本時	○自分の近所を表現する練習をする。 ・ペアで自分の近所を紹介しあう。 ・グループ内で自分の近所を紹介しあう。 ・学級全体で紹介しあう。	①				ペアワークやグループ活動において、間違えることを恐れずに話している。（活動の観察）
5	○自分の近所や行きたいところを説明する。 ・ペアで自分の近所や行きたいところを説明する練習をする。 ・相手を変えながら他の生徒と自由に					

	説明し合う。 ・上記の活動中に教師のところに来て、自分の近所と行きたいところを説明する。		①		自分の近所や行きたいところを口頭で説明することができる。 (ダイアログテスト)
6	○動名詞も用いた文の構造を理解する。 ・教科書を通して動名詞を目的語として用いた文の構造を知る。 (動名詞が目的語となる場合) ・教科書 P.60 の音読練習			②	動名詞を用いた文の構造 (動名詞を目的語として用いる文)を理解している。 (後日ペーパーテスト)
7	○動名詞も用いた文の構造を理解する。(動名詞が主語となる場合) ・教科書を通して、動名詞が主語として用いられる文の構造を知る。 ・教科書 P.61 の音読練習			②	動名詞を用いた文の構造 (動名詞を主語として用いる文)を理解している。 (後日ペーパーテスト)
8	○動名詞と不定詞の違いについて理解する。 ・目的語に動名詞をとる動詞と不定詞をとる動詞との違いを知る。			②	動名詞を用いた文の構造 (動名詞と不定詞の使用法)を理解している。 (後日ペーパーテスト)
後日	<ペーパーテスト> □地図を見てどこに何があるかの表現を書く問題 □場面に合う適切な表現を書く問題			① ②	第1、2、6、7、8時の評価規準で(ペーパーテスト)

6 本時の学習

(1) ねらい

- ペアやグループでの活動において、間違えることを恐れずに話す。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 展開

時間	学習活動	教師の支援	評価 (評価方法)
(10)	1. あいさつ	・生徒—教師でおこなう。 ・今日の日付、曜日、天気を確認する。	
	2. ビンゴ	・ペアと対戦する。 ・読み上げた単語を板書し、理解の助けとする。	
(2)	3. 今日の目標と流れを確認する。		
(5)	4. 前時の学習を振り返る。	・デジタル教科書を使いながら行う。	

(10)	5. ペアで自分の近所を説明、振り返り ・ Step1	・ 「行きたいところ」の活動を行う事を告げ、学習の手順 (Step1~Step3) を書画カメラを使って示す。	
(10)	6. グループで自分の近所を説明し合う。 ・ Step2 ペア→グループ ・ Step3	・ すべてのペアが Step2 の活動を終えたところで、振り返りをする。間違いを恐れずに発話しようとしているペアの様子を全体で共有できるよう紹介する。 ・ グループ活動後、互いのよかったところを評価させる。 ・ 時間に余裕のある生徒には Step 3 の課題を与える。	ペアワークやグループ活動で間違いを恐れずに話している。(活動の観察)
(7)	7. 全体の前で自分の近所を紹介する。	・ 書画カメラを用いて、紹介する生徒の資料が全体に見えるようにする。 ・ 学級全体に対して紹介した生徒のよかったところを全体に伝える。	
(6)	8. 本時の活動を振り返る。	・ 生徒の活動全体を通して、よかったところを具体的に挙げて確認することで、生徒の次時への意欲を高めるようにする。 ・ 修正すべき間違いについて確認する。	

(3) 本時の具体的な評価と支援

評価観点	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	間違いを恐れずに、ペア活動やグループ活動において話している。	グループの他のメンバーのワークシートやアドバイスを参考にしながら、表を書いたり、英語を書いたりしようとするよう促す。

【具体的な評価方法】

◇第4時と第5時のペアワークで英語を用いて話しているかどうかを観察し、

- ・話している場合は○
- ・話していない場合は× とする。

◇2回の評価結果で、

- ・○が2つなら「十分満足できる」状況 (A)
- ・○が1つなら「おおむね満足できる」状況 (B)
- ・×が2つなら「努力を要する」状況 (C) とする。

私の近所・私が行きたいところ

Class 2 - () No. () Name ()

Step 1 次のものが家の近くにあるかどうか、例を参考にしてペアでたずねてみましょう。
ある場合には○を、ない場合には×を表に書き入れましょう。

建物 など 名前	(例)  a park	 a school	 a river	 a post office

Step 2 あなたの家の近く（1キロメートル以内）には、どんなもの（建物、施設）がありますか。簡単な地図を描いてから、例を参考にして英語で説明しましょう。

(例) There is a public hall near my house.
When I was a small child, I went there to play with my friends every day.

There is a convenience store near my house. I often go there to buy some snacks. (お菓子) .

(地図)

Tool Box

field 畑 convenience store コンビニ

public hall 公民館 clinic 医院

ステップアップ 早く終わったら、自分の近所について英語を書いてみよう。

<p>.....</p> <p>.....</p>

Step1 の会話例

(例) A: Is there a park near your house?

B: (ある場合) Yes, there is. I often play baseball there.

(ない場合) No, there isn't. How about you?

Step 2 会話を続けよう

これは何という _____ ですか。

What's the name of this _____?

It's "_____"

どのくらいかかりますか。

How long does it take?

It takes (about) _____ minute(s).

_____ がほしいですか。

Do you want _____?

どうして? / どうしてほしくないの

Why? / Why not?

・・・だから。

Because

Challenge !

Step 3

あなたは旅行するとしたら、どこに行きたいですか。また、そこにはどのようなものがありますか。例を参考にして、3～4文の英語で説明できるようにしましょう。(それ以上になってもいいですよ。)

(例1) I want to go to Tokyo. There is a famous tower there. It's Tokyo Sky Tree. It's 634 meters high. There are many kinds of shops in the shopping mall near the tower. I want to go there someday.

(例2) I want to go to England. There's a very famous museum there. Do you know the name of the museum? It's the British Museum. There are a lot of famous paintings and sculptures there. I like art very much and want to see them.

Tool Box

famous	有名な	kind	種類	shopping mall	ショッピングモール
someday	(これから先の)	いつか		the British Museum	大英博物館
painting	絵画	sculpture	彫刻	art	芸術

Name ()
